

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
			内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
事務事業名	内 直接事業費	4	有効性評価						
	内 人件費	5	効率性評価						
1	101001010	田原市市民協働まちづくり条例に基づき、 総括的な協働体制の構築、市民公益活動 のきっかけづくりの支援等により、市民協働 のまちづくりを推進する。	13,746,558	○	事務事業評価		・市民との協働を推進するため、市民協働 まちづくり事業補助金や啓発活動を実施し ている。 ・市民活動支援センターを設置し、運営を 市民活動団体に委託して、市民活動団体 の自立と継続的な活動支援をしている。引 き続き、センターの活用を図りながら、情報 提供をする必要がある。	・市民協働まちづくり会議を主体に市民協働 や補助制度について啓発を実施した。 ・補助金活用実績 5団体(通常枠2、新規 団体枠3) ・市民活動支援センターにおいて、市民活動 の相談・支援、市民活動団体への取材やア ウトリーチ等を行った。	・補助金制度が活用しやすいように、引き続 き、市民活動のニーズに合った制度運用に 努めていく。 ・市民活動支援センターでの情報発信の充 実、センターの認知度の向上を図る。
	市民協働・男女共同参画の推進		3,160,174		1	企画部 企画課			
	市民協働まちづくり推 進事業		10,586,384		2	平井 堅一郎			
			13,270,059		3	高い			
			3,003,118		4	高い			
10,266,941	5	普通							
2	101002020	地域住民自らの創意工夫と共助による「み んなで支えあう暮らしやすいまち」を実現す るため、地域コミュニティ団体の活動を支 援する。	99,520,737	○	事務事業評価		・自治会等の地域コミュニティ団体の活性 化を図るため、人口及び世帯数に応じて財 政的支援等を行う。 ・自主的な地域づくり活動を促進するため、 継続した支援が必要である。	・市からの依頼業務や地域活動に必要な運 営費の助成を行うことで、地域コミュニテ ィ団体の運営体制の強化と地域コミュニテ ィ活動の活性化が図られた。	・引き続き財政的支援等を行うことで、地域 活動の活性化を図る。
	市民協働・男女共同参画の推進		96,359,000		1	総務部 行政課			
	コミュニティ活動支援 事業		3,161,737		2	川口 崇			
			100,353,256		3	極めて高い			
			96,463,000		4	高い			
3,890,256	5	高い							
3	101002030	地域住民自らの創意工夫と共助による「み んなで支えあう暮らしやすいまち」を実現す るため、地域コミュニティ団体の活動拠点と なる施設等の整備を支援する。	27,321,042	○	事務事業評価		・自治会等の地域コミュニティ団体の要望 を受け、必要な施設整備や備品購入等に 対する支援を行う。 ・地域コミュニティ団体のニーズに即した支 援が必要である。	・地域コミュニティ団体に必要な施設等の整 備に係る費用を支援することで、地域活動 基盤の維持及び強化が図られた。	・継続した支援制度により、地域コミュニテ ィ施設等の基盤強化を図る。 ・補助対象や補助上限について、ニーズに 即した支援制度となるよう見直しを図る。
	市民協働・男女共同参画の推進		24,715,000		1	総務部 行政課			
	コミュニティ施設等整 備支援事業		2,606,042		2	川口 崇			
			33,157,986		3	高い			
			30,187,000		4	高い			
2,970,986	5	普通							
4	101003010	田原市男女共同参画推進プランに基づき、 市民、各種団体、事業者及び行政の連携 により男女共同参画社会の実現を図る。	7,346,660	○	事務事業評価		・啓発業務の一部は、市民提案に基づき市 民活動団体に委託している。 ・男女共同参画に関する意識については、 市民にも徐々に理解が広がってきている が、継続して男女共同参画を推進していく 必要がある。	・「田原市SDGsフェスタ2025」として、男女 共同参画フェスティバルとエコフェスタを合 同で開催した結果、幅広い層の集客につな がり、相乗効果を生み出した。 ・男女共同参画に関する市民アンケート調査 の際に、Web回答を導入した。	・令和8年度に男女共同参画推進プランⅢ を策定するとともに、男女共同参画フェス ティバルへの市民参加や啓発に努め、男女 共同参画意識の浸透を図る。 ・市民アンケート調査結果をもとに、男女共 同参画社会の実現に向けた環境づくりのた め、啓発に努めていく。
	市民協働・男女共同参画の推進		452,760		1	企画部 企画課			
	男女共同参画推進事 業		6,893,900		2	平井 堅一郎			
			9,623,867		3	高い			
			1,219,885		4	高い			
8,403,982	5	普通							
5	102001010	市民が安心して暮らすことのできるまちづく りを推進するため、防犯指導員の青色パト ロールカーによる地域巡回や、各地区、各 種団体への防犯講習等を実施し、警察、防 犯協会連合会との連携による防犯啓発活 動や防犯に関する情報発信等を実施する。	36,195,493	○	事務事業評価		・防犯指導員による地域巡回や防犯講習 等により、地域の防犯と市民の防犯意識の 向上を図る。 ・防犯意識が浸透するよう、啓発活動を継 続的に実施する必要がある。	・田原市安心安全なまちづくり推進協議会に おいて、各団体の防犯に対する取組状況等 の情報共有を図った。 ・警察・防犯協会と連携した防犯キャンペ ーン等を実施し、市民の防犯に対する意識 の高揚を図った。	・各種団体と連携した防犯活動を継続して 実施することで、市民の防犯意識の向上を 図る。 ・防犯指導員による地域巡回を継続して実 施し、犯罪抑止に努める。
	地域防犯・交通安全の推進		19,750,854		1	総務部 行政課			
	防犯啓発・地域巡回 事業		16,444,639		2	川口 崇			
			38,931,852		3	高い			
			21,428,198		4	高い			
17,503,654	5	普通							
6	102001020	地域住民自らの創意工夫と共助による「み んなで支えあう暮らしやすいまち」を実現す るため、地域コミュニティ団体の防犯施設の 整備を支援する。	7,087,426	○	事務事業評価		・地域コミュニティ団体による防犯灯の新設 及び防犯灯のLED化を支援するため、防犯 施設整備費の一部を支援する。 ・犯罪を防止するため、地域が実施する防 犯施設の整備に対して支援が必要である。	・地域コミュニティの要望に基づき、防犯灯 の整備に必要な経費の支援を行うことで、地 域防犯力の向上を図った。 ・地域が実施する防犯灯のLED化を支援を することで、防犯設備の長寿命化が図られ た。	・地域コミュニティが実施する防犯灯の整備 に対して支援を行い、地域防犯力の向上を 図る。 ・引き続き防犯灯のLED化を促進する。
	地域防犯・交通安全の推進		3,982,000		1	総務部 行政課			
	地域防犯施設整備支 援事業		3,105,426		2	川口 崇			
			5,649,628		3	高い			
			3,242,000		4	普通			
2,407,628	5	普通							
7	102002010	地域コミュニティ団体や警察等と協力し交 通安全街頭指導活動や街頭キャンペーン 等を行うことにより、市民の交通安全に対 する意識の高揚を図る。	9,379,728	○	事務事業評価		・地域コミュニティ団体や警察等と連携し、 交通安全街頭指導や街頭キャンペーン等 の啓発活動を実施することにより、市民の交 通安全に対する意識を高めていく必要があ る。	・地域コミュニティ団体や警察等と連携し、 交通安全街頭指導等を行った。 ・運転免許証自主返納支援やシニアカー購 入支援等により、高齢者による交通事故の 抑止が図られた。	・交通事故の多い高齢者向けの交通安全対 策として、運転免許証の自主返納やシニア カー購入の支援を行う。 ・警察、関係諸団体と連携し、継続的に交通 安全啓発活動を行うことで、交通事故の抑 止を図る。
	地域防犯・交通安全の推進		5,390,107		1	総務部 行政課			
	交通安全啓発事業		3,989,621		2	川口 崇			
			8,206,143		3	高い			
			4,860,500		4	普通			
3,345,643	5	普通							

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
8	102002020	市内全小学校区に交通指導員を配置し、児童の登下校時の事故防止を図るとともに、園児を対象とした交通安全教室の実施や各種交通安全イベントへの参加等、交通安全啓発活動を実施する。	46,299,376	○	事務事業評価		・交通指導員による児童の登下校時の交通安全指導及び園児の交通安全教室等により、事故防止と交通安全意識の定着を図る必要がある。	・各小学校区に交通指導員を配置し、児童の登下校時の交通安全指導を行うことで、通学時の安全確保を図った。 ・園児を対象とした交通安全教室を行い、交通安全の知識の定着を図った。	・交通指導員による児童の登下校時の交通安全指導や見守り、園児への交通安全教室を継続実施し、交通事故防止と交通安全意識の定着を図る。
	地域防犯・交通安全の推進		105,930		1	総務部 行政課			
	交通指導事業		46,193,446		2	川口 崇			
			49,219,976		3	高い			
			10,080		4	普通			
			49,209,896		5	普通	改善の効果	普通	
9	102002030	交通公園施設の利用を通して、交通安全に関する知識及びルールを身につけられるように、交通公園の適切な管理運営を行う。	2,874,254	○	事務事業評価		・保育園、小学校等の交通安全教室や、土・日・祝日の一般利用のため、適切な施設管理を行うとともに、公園内の交通体験を通じて安全意識の高揚を図っている。 ・交通公園の機能保持と利用者の安全確保のため、設備や乗り物の適正な維持管理が必要である。	・シルバー人材センターに施設管理を委託するとともに、設備や乗り物の点検・修繕を行い、施設の機能保持と利用者の安全確保を図った。 ・交通公園の利用を通じて、子どもたちに交通ルールの大切さを学ぶ機会を提供することにより、交通安全意識の高揚が図られた。	・交通公園の適切な維持管理を行う。 ・保育園、小学校等と連携し、交通公園の利用促進を図る。
	地域防犯・交通安全の推進		1,652,934		1	総務部 行政課			
	交通公園運営事業		1,221,320		2	川口 崇			
			3,569,898		3	普通			
			1,675,628		4	普通			
			1,894,270		5	普通	改善の効果	普通	
10	102002040	安全な道路交通を確保するため、市内の交通危険箇所に道路反射鏡等交通安全施設を整備するとともに、施設の適切な点検・維持管理を行う。	10,325,514	○	事務事業評価		・地域等からの要望を受け、公衆用道路における危険箇所に道路反射鏡等の交通安全施設を整備する。 ・道路反射鏡等の交通安全施設を適切に維持管理する必要がある。	・地域等からの道路反射鏡等の設置要望に対し、必要に応じた施設の設置や危険防止のアドバイスなどを行い、危険箇所の改善を図った。 ・道路反射鏡等の修繕や、不要となった交通安全施設を撤去し、市民の安全な道路交通を確保した。	・道路反射鏡等の設置要望箇所について、地域と協議を行い、真に必要な場所を選定し、危険箇所の改善を図る。 ・修繕が必要な施設について適切な対応を行うとともに、不要となった交通安全施設の撤去を進める。
	地域防犯・交通安全の推進		6,319,520		1	総務部 行政課			
	交通安全施設維持管理事業		4,005,994		2	川口 崇			
			11,413,462		3	高い			
			7,716,280		4	普通			
			3,697,182		5	普通	改善の効果	普通	
11	102002050	安全な道路交通を確保するため、道路反射鏡等の交通安全施設の修繕を実施するとともに、適切な維持管理を行い、交通事故を防止する。	2,835,274	○	事務事業評価		道路反射鏡等の交通安全施設は、交通事故防止のため適切な維持管理が求められており、施設の老朽化や破損が発生した場合には、迅速に修繕を実施する必要がある。	地域からの要望や現場確認に基づき、破損した道路反射鏡の交換や補修を実施したことで、交通安全施設の機能を維持し、地域の安全な道路交通の確保につながった。	地域との情報共有を密にし、交通安全施設の破損状況や道路の危険箇所を早期に把握するとともに、優先度を踏まえた迅速かつ適切な維持管理に努める。
	地域防犯・交通安全の推進		1,801,250		1	渥美支所 市民サービス課			
	交通安全施設維持管理事業(渥美支所)		1,034,024		2	河合 まり子			
			2,595,356		3	高い			
			1,315,490		4	高い			
			1,279,866		5	普通	改善の効果	普通	
12	103001010	地域資源を活用し、環境と共生する豊かで持続する地域を目指した「たはらエコ・ガーデンシティ構想」の実現を図る。また、たはらエコ・ガーデンシティ推進計画の一層の推進を図るため、総合調整、進行管理を実施する。	41,443,256	○	事務事業評価		・たはらゼロカーボンシティ推進事業費補助金等による再生可能エネルギー及びゼロエミッション車導入促進のほか、菜の花エコプロジェクトの推進、普及啓発などについて活動団体等と連携して行っている。 ・脱炭素社会の実現を目指すため、市民や事業者に向けた普及啓発等を継続して行っていく必要がある。	・再生可能エネルギー及びゼロエミッション車等の導入に対する補助金を交付した。 ・市内で発電された再エネ由来電力の地産地消の仕組みを導入した。 ・公共施設照明LED化の方針を決定した。 ・SDGsフェスタ開催、児童クラブでのゼロカーボン教室等の啓発を実施した。	・再生可能エネルギー及びゼロエミッション車等の導入補助を継続し、技術の進化に応じて改善を検討する。 ・再生可能エネルギーの地産地消、公共施設照明のLED化等により、ゼロカーボンシティに向けた取組を進める。 ・脱炭素社会、たはらエコ・ガーデンシティ構想実現のため、普及啓発等を継続する。
	環境共生の推進		14,183,584		1	市民環境部 環境政策課			
	エコ・ガーデンシティ構想推進事業		27,259,672		2	宮本 実佳			
			57,152,292		3	高い			
			25,655,953		4	高い			
			31,496,339		5	普通	改善の効果	高い	
13	103002010	田原市環境保全計画の推進と進行管理及び、各種関連計画の総合的な推進を図る。	24,894,329	○	事務事業評価		・田原市の環境状況を把握するため、水質、大気、振動・騒音といった生活環境に関する各種測定を実施している。測定結果について、異常値等が見受けられる場合は必要に応じて現場の確認、原因者への指導を行っている。 ・農業や畜産由来の汚水が原因とされる水質や悪臭に対する苦情が多い。	・環境保全計画について、環境審議会にて推進状況を報告し、進捗管理を行った。 ・環境パトロールにより、堆肥製造事業所への定期訪問や、耕作地の堆肥の適正散布を呼び掛けることで、苦情発生抑制に繋がった。	・水質、大気汚染、騒音・振動調査等を継続して行い、現状把握に努め、健全な生活環境の保全を図る。 ・苦情については、今後も関係機関と協力して事業所の適正管理、パトロールを強化し、原因者に対して適正な指導を行う。 ・SNS等、多様な媒体を活用して環境に係る啓発を行う。
	環境共生の推進		9,921,005		1	市民環境部 環境政策課			
	環境保全対策事業		14,973,324		2	宮本 実佳			
			30,038,537		3	高い			
			9,813,593		4	高い			
			20,224,944		5	普通	改善の効果	高い	
14	103002020	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の普及推進を図る。	4,963,687	○	事務事業評価		・合併処理浄化槽整備支援は、下水道等の整備対象区域外の地域に居住する市民の生活環境整備対策として実施していく必要がある。 ・下水道等の整備区域外に居住する、様々な理由で、合併処理浄化槽へ転換できない世帯に対して促進していく必要がある。	・ホームページや広報紙等で補助制度の周知を図った。	・下水道の整備区域外における定住化促進や生活環境整備対策の観点から、引き続き適正な助成を実施する。
	環境共生の推進		2,016,565		1	上下水道部 下水道課			
	合併処理浄化槽整備支援事業		2,947,122		2	平井 康友			
			6,530,459		3	高い			
			3,034,323		4	高い			
			3,496,136		5	普通	改善の効果	普通	

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
15	103002030	中小企業者及び畜産事業者等が行う公害 防除施設等の整備事業に対し事業費助成 を行うことにより、公害防止を推進する。	23,280	○	事務事業評価		・公害防止施設等整備費補助金(補助率 100分の15、限度額200万円)を交付して いる。 ・補助金周知のため、広報紙とHPへの掲載 を実施しているが、補助対象事業者の設備 投資のタイミングが合わない申請されない ことがある。	・補助金のチラシを作成し周知に努めた。 ・畜産環境汚染防止施設に対し、補助金を 交付した。(1件)	
	環境共生の推進		0		1	市民環境部 環境政策課			
	発生源対策整備支援 事業		23,280		2	宮本 実佳			
			2,365,473		3	普通			
			2,000,000		4	高い			
			365,473		5	普通		改善の効果	普通
16	104001010	利用者への安定したサービスを行うため、 田原斎場の適正な維持管理を行う。	132,093,668	○	事務事業評価		・維持管理業務を包括委託しており、安定 した火葬業務を実施している。 ・利用者が安心安全に利用できるよう施設 の修繕工事を実施している。	・斎場管理運営事業者からの斎場運営に関 する相談・報告に速やかに対応した。 ・利用者が安心して利用できるよう、火葬炉 設備補修工事を実施した。	
	生活衛生の向上		123,329,849		1	市民環境部 環境政策課			
	斎場運営事業		8,763,819		2	宮本 実佳			
			129,619,831		3	極めて高い			
			120,217,176		4	高い			
			9,402,655		5	普通		改善の効果	高い
17	104002010	防除活動及び衛生害虫駆除活動を推進 し、公衆衛生の向上を図る。 水道・井戸等の衛生管理や食中毒の予防 対策を行い、公衆衛生の向上を図る。	7,950,964	○	事務事業評価		・専用水道、井戸等の適正な管理を推進 するため、立入検査を実施している。 ・簡易専用水道等の適正な管理について 啓発を推進する必要がある。 ・近年、線状降水帯の発生等による大雨で の浸水被害が発生している。 ・飼い主のいない猫による被害の苦情や相 談がある。	・専用水道、簡易専用水道の立入検査を実 施し、検査、衛生管理指導をすることで、適 正な管理を推進した。(12件) ・飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金 を61件、187匹分交付した。 ・飼い主のいない猫問題の解決のために地 域猫セミナーを実施した。	
	生活衛生の向上		1,098,733		1	市民環境部 環境政策課			
	生活衛生事業		6,852,231		2	宮本 実佳			
			6,889,429		3	高い			
			1,437,440		4	高い			
			5,451,989		5	普通		改善の効果	高い
18	104002020	狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止 するため、狂犬病予防法に基づき犬の登 録・管理と予防注射を行う。 関係機関と連携して野犬対策を行う。	5,412,415	○	事務事業評価		・狂犬病予防注射の実施率は、ほぼ横ばい である。(R7年度92.1%) ・野犬は捕獲が難しく、特に成犬は捕獲器 を設置してもなかなか捕獲できない。	狂犬病予防注射の通知、未実施者への再 通知の発送により、実施率の向上に努めた。 ・狂犬病予防注射実施頭数 2,995頭 ・新規登録頭数 192頭 ・動物愛護センター犬捕獲頭数 6頭	
	生活衛生の向上		1,319,002		1	市民環境部 環境政策課			
	狂犬病予防対策事業		4,093,413		2	宮本 実佳			
			7,640,410		3	高い			
			1,516,494		4	高い			
			6,123,916		5	普通		改善の効果	高い
19	105001010	廃棄物の適正処理及び減量化・資源化を 推進するため、PR等により住民意識の向上 を図り、ごみ分別の徹底や資源の再利用を 促進する。	100,271,966	○	事務事業評価		・講座やHP等による啓発を実施しているが、 ごみ減量・資源化の推進のためには、住民 意識の向上にむけた取組の強化を図る必要 がある。	・ほーもん講座等でごみ減量・資源化を推進 した。 ・可燃ごみ組成分析調査業務を行った。 ・生ごみ処理容器等の設置者に対して購入 費を補助した。	
	資源循環の推進		81,351,361		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	ごみ減量・資源化推進 事業		18,920,605		2	仲井 努			
			98,391,038		3	極めて高い			
			79,187,209		4	高い			
			19,203,829		5	高い		改善の効果	普通
20	105002010	ごみステーション等に出された一般廃棄物 の分別収集を行い、ごみの減量化及び資 源ごみの再利用を促進し、生活環境の向 上を図る。	343,944,272	○	事務事業評価		・ステーション方式により分別収集し、ごみ 減量化や資源ごみの資源循環に向け、ご みの分別回収に積極的に取り組んでいる。	・地域要望等により、ごみステーションの移設 や集塵箱の増設、収集用ネット・生ごみ用コ ンテナの設置等を行った。 ・地区自治会と協力して、ごみステーション への啓発ラミネートの設置やごみの出し方に 係る回覧文書を配布した。 ・粗大ごみの戸別収集を行った。	
	資源循環の推進		336,781,955		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	ごみ収集事業		7,162,317		2	仲井 努			
			370,699,573		3	極めて高い			
			360,378,779		4	高い			
			10,320,794		5	普通		改善の効果	普通
21	105002020	不法投棄を防止するため、不法投棄防止 対策や啓発等により住民意識を向上し、生 活環境の保全を図る。	8,980,943	○	事務事業評価		・不法投棄防止パトロールやHP等による啓 発を実施しているが、不法投棄は続いてい る。	・不法投棄が多発している場所を「重点箇 所」として重点パトロールや不法投棄物の回 収を行った。 ・地区自治会と協力した看板・監視カメラの 設置、啓発を行った。 ・警察署と対策等の情報共有を行った。	
	資源循環の推進		4,411,405		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	不法投棄防止対策事 業		4,569,538		2	仲井 努			
			11,929,544		3	高い			
			5,779,595		4	普通			
			6,149,949		5	普通		改善の効果	普通

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
			内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
	事務事業名		内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
22	105003010	田原リサイクルセンターの運営は令和6年度で終了するが、火災、悪臭及び害虫発生等の防止措置として、ピット内の残置ごみ除去や汚水の処分等、田原リサイクルセンターの仕舞業務を行う。	650,419,698	○	事務事業評価		・令和6年度末で稼働を終了した炭生館の仕舞業務を行う必要がある。	・炭生館の稼働停止に伴う、仕舞業務を行った。	令和7年度で事業終了
	資源循環の推進		646,502,060		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	田原リサイクルセンター運営事業		3,917,638		2	仲井 努			
			120,675,550		3	高い			
			117,162,211		4	普通			
3,513,339	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
23	105003020	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理及び破碎処理、各地区ステーション回収ごみの選別処理を行い、資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみに分別し、ごみの減量化・資源化を図る。	85,676,142	○	事務事業評価		・一般廃棄物を資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみに分別し、資源ごみの再資源化・埋め立てる不燃ごみの減量化に取り組んでいる。 ・水処理施設が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・搬入されるごみについての分別方法を指導し、適正に処理した。 ・水処理施設の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	・引き続き、搬入ごみの適正処理に努める。 ・破碎施設の運転維持管理をするとともに、浸出水の適正処理のため、老朽化した水処理施設の各種設備を更新していく。 ・豊橋市の広域ごみ焼却処理施設へのごみの運搬を円滑に進める。 ・資源化センターの機能集約を検討していく。
	資源循環の推進		46,348,875		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	東部資源化センター運営事業		39,327,267		2	仲井 努			
			89,269,589		3	高い			
			48,440,391		4	高い			
40,829,198	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
24	105003030	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理、剪定枝・草等のチップ化処理及び不燃ごみ等の埋立てを行い、ごみの減量化・資源化を図る。	115,066,815	○	事務事業評価		・一般廃棄物を資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみに分別し、また、剪定枝木・草等をチップ化して、資源ごみの再資源化・埋め立てる不燃ごみの減量化に取り組んでいる。 ・水処理施設が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・搬入されるごみについての分別方法を指導し、適正に処理した。 ・水処理施設の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	・引き続き、搬入ごみの適正処理に努める。 ・浸出水の適正処理のため、老朽化した水処理施設の各種設備を更新していく。 ・豊橋市の広域ごみ焼却処理施設へのごみの運搬を円滑に進める。 ・資源化センターの機能集約及び廃止した焼却施設の跡地利用を検討していく。
	資源循環の推進		85,649,886		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	赤羽根環境センター運営事業		29,416,929		2	仲井 努			
			121,241,243		3	高い			
			86,972,345		4	高い			
34,268,898	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
25	105003040	一般廃棄物を適正に処理するため、資源ごみの分別処理、粗大ごみ(可燃性)の解体処理及び不燃ごみ等の最終処分場への搬出を行い、ごみの減量化・資源化を図る。	31,631,660	○	事務事業評価		・一般廃棄物を資源ごみ、可燃ごみ、不燃ごみに分別し、資源ごみの再資源化・埋め立てる不燃ごみの減量化に取り組んでいる。	・搬入されるごみについての分別方法を指導し、適正に処理した。	・引き続き、搬入ごみの適正処理に努める。 ・豊橋市の広域ごみ焼却処理施設へのごみの運搬を円滑に進める。 ・資源化センターの機能集約を検討していく。
	資源循環の推進		15,391,649		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	渥美資源化センター運営事業		16,240,011		2	仲井 努			
			36,641,325		3	高い			
			16,602,117		4	高い			
20,039,208	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
26	105003050	豊橋市資源化センターで焼却した田原市の可燃ごみの焼却残さの埋立てを行うとともに、場内から排出される浸出水を適正に処理する。	26,186,914	○	事務事業評価		・豊橋市資源化センターで焼却した田原市の可燃ごみの焼却残さの受入処理を適切に実施している。 ・水処理施設が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・水処理施設の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	・引き続き、浸出水の適正処理のため、老朽化した水処理施設の各種設備を更新していく。 ・ごみ処理広域化により豊橋市資源化センターで処理したごみの焼却残さ(田原市負担分)を適切に受入処理する。 ・残余容量については、減少状況を把握し、適正な埋立てを図っていく必要がある。
	資源循環の推進		20,968,185		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	第二東部最終処分場運営事業		5,218,729		2	仲井 努			
			34,799,374		3	高い			
			28,499,189		4	高い			
6,300,185	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
27	105003060	搬入される割れガラス、陶磁器等の不燃ごみの埋立てを行うとともに、場内から排出される浸出水を適正に処理する。	14,824,486	○	事務事業評価		・不燃ごみ等の受入処理を適切に実施している。 ・水処理施設が経年劣化しているため、更新が必要となっている。	・水処理施設の修繕を実施し、浸出水の適正処理を行った。	・引き続き、搬入ごみの適正処理に努める。 ・浸出水の適正処理のため、老朽化した水処理施設の各種設備を更新していく。
	資源循環の推進		12,740,929		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	渥美最終処分場運営事業		2,083,557		2	仲井 努			
			13,974,529		3	高い			
			11,218,258		4	高い			
2,756,271	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
28	105003080	旧リサイクルセンター、片浜最終処分場跡地及び長田最終処分場跡地を適正に管理する。	55,484,672	○	事務事業評価		・旧リサイクルセンターの解体等に向けた検討、手続を行う必要がある。 ・旧リサイクルセンターの水処理施設が経年劣化のため、更新が必要となっている。 ・長田最終処分場跡地管理については、引き続き、処分場用地を返還していくための調整を行う必要がある。	・旧リサイクルセンターの水処理施設を修繕し、浸出水の適正処理を行った。 ・3処分場とも除草作業等を実施し、適正管理を行った。	・旧リサイクルセンターについては、老朽化した水処理施設の各種設備の更新を継続し、水処理施設以外は、解体・撤去を進める。 ・長田最終処分場跡地の返還について、地権者の高齢化と後継者不足から返還後の土地の活用方法(農地)が見いだせていない。今後、地権者と話し合いを行い、返還するための方策を検討する。
	資源循環の推進		52,073,434		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	最終処分場跡地管理事業		3,411,238		2	仲井 努			
			18,084,025		3	高い			
			14,644,008		4	高い			
3,440,017	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価							
29	105003090	令和7年度から可燃ごみ及び生ごみの処理を豊橋市へ委託するとともに、令和10年3月までに共同で広域ごみ焼却処理施設を整備し、運営する。	76,354,870	○	事務事業評価		・令和7年度から豊橋市とごみ処理広域化(可燃ごみ、生ごみ)を実施している。 ・令和10年3月に供用開始予定の広域ごみ焼却処理施設について、具体的な内容を両市で協議する必要がある。	・ごみ処理委託(可燃ごみ、生ごみ)について、豊橋市との協定に基づく費用を負担した。 ・広域ごみ焼却処理施設に関し、豊橋市及び整備事業者と協議を行った。 ・広域ごみ焼却処理施設の整備について、豊橋市との協定に基づく費用を負担した。	・引き続き、豊橋市及び整備事業者と広域処理及び広域ごみ焼却処理施設に関する協議を行う。
	資源循環の推進		72,607,000		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	豊橋田原ごみ処理広域化事業		3,747,870		2	仲井 努			
			619,130,080		3	高い			
			613,835,000		4	高い			
5,295,080	5	高い							
30	105003110	ごみ中継施設の管理運営(施設維持管理、ごみの積替等)及び豊橋市へのごみの運搬を民間事業者へ委託し、一般廃棄物を適正に処理する。	20,167,049	○	事務事業評価		・令和7年度から豊橋市とごみ処理広域化(可燃ごみ、生ごみ)を実施しており、ごみ中継施設の運営と豊橋市内の施設への運搬を滞りなく行う必要がある。	・ごみ処理広域化のため、ごみ中継施設の管理運営及び豊橋市のごみ処理施設への運搬を行った。	・市内で収集運搬したごみを滞りなく豊橋市内の施設で処理することができるように、ごみ中継施設の適正な維持管理及び効率的な運搬に努める。
	資源循環の推進		16,478,110		1	市民環境部 廃棄物対策課			
	ごみ中継施設運営事業		3,688,939		2	仲井 努			
			112,037,249		3	高い			
			107,627,431		4	高い			
4,409,818	5	高い							